

第 600 回 難研セミナー

第 173 回 難治疾患共同研究拠点セミナー

下記により難研セミナーを開催しますので、多数御来聴下さい。

記

日 時：2019年7月23日（火）17:00～19:00

場 所：M&D タワー21階 セミナー室

演 者：松井 秀彰

（新潟大学 研究推進機構/脳研究所）

演 題：小型魚類で明らかにする神経難病のメカニズム

要 旨：パーキンソン病は原因不明の神経変性により運動障害など様々な障害をきたす神経難病であり、その疾患記載から200年経つ今まで様々なモデル動物や実験系が利用されてきた。

本セミナーでは私達のこれまでのゼブラフィッシュ、メダカ、そして超短命最速老化のアフリカメダカを中心としたパーキンソン病研究を概説し、これらの知見をヒト疾患に応用する試みをお話したい。

1. Matsui, H.*, Kenmochi, N., Kazuhiko, N. Age- and α -Synuclein-Dependent Degeneration of Dopamine and Noradrenaline Neurons in the Annual Killifish *Nothobranchius furzeri*. *Cell Reports* 26(7):1727-1733, 2019.
2. Matsui, H.*, et al. Functional regionalization of the teleost cerebellum analyzed in vivo. *Proc Natl Acad Sci USA* 111(32): 11846-11851, 2014.
3. Matsui, H.*, et al. PINK1 and Parkin complementarily protect dopaminergic neurons in vertebrates. *Hum Mol Genet* 22(12): 2423-2434, 2013.

連絡先：発生再生生物学分野 仁科 博史（内線4659）

共催：分子神経科学分野 田中 光一